第754號　（日曜日）（火曜日）　夕刊　いわき民報　昭和23年10月26日　（1）　昭和21年6月1日（第三種郵便物認可）

いわき民報

毎日一回発行
一部十五円
一カ月四十円
八ページ
平市中町二一
いわき民報社

常磐炭田—全炭鑛の調印も求めて

二十七日打揃つて上京猛運動

これに先立ち郡山局にも挨拶

平炭鑛局の昇格運動は昨朝の如く極めて幸先きよいスタート振りを示したが、これに力を得た両では同西部合同委員長の上京に先立つて先づ鈴木市長か阿部助役か當田平局長といもに二十六日國鐵の大内平鑛業所長、柴田、永野南市議、鈴木傳明氏らが當田平局長及び東北配電の關係から郡山放送局を訪れ、今回の昇格運動の説明をなすとともに何分の後援方を懇請の上、翌二十七日打揃つて郡山から上京、中央放送局に猛運動を試みることに決定、十九日夕打合せ會を行つた、なお上京に先立つて常磐炭田各炭鑛の委を調印も得てこれを持參することにもなつた

常磐製作優勝

平石炭局管内炭鑛野球大會

平石炭局管内炭鑛体育連盟主催第一回野球大會は二十三、四兩日準決勝まで行い、二十五日午前八時半から雨露球場で常磐製作ナインと古河好個B組との間に決勝戦を行つたが3A對0で見事常磐製作に凱歌があがり、齋藤進監督會長から優勝旗を授與されたなおスコアーは左の通り

▽一回戦

常磐1—0勿來
勿來3—2大昭
常磐湯本8—6磐形
田川4—0古河A
日新1—2常磐鹿島
四兩日準決勝まで行い、二十
五日午前八時半から雨露球場
で常磐製作ナインと古河好個
B組との間に決勝戦を行つた
が3A對0で見事常磐製作に
凱歌があがり、齋藤進監督會長
から優勝旗を授與された
なおスコアーは左の通り
▽一回戦
常磐1—0勿來
勿來3—2大昭
常磐湯本8—6磐形
田川4—0古河A
日新1—2常磐鹿島
久ノ濱9—2小野田
磐秩1—0—2上好間
中郷7A—1東部
戸部2—1—2浪花
日曹赤井1—4—4磐田川
古河B7—1—1矢嶺
常磐製作8—2本戸
田人2—0川民
平和4—0常磐内郷
▽二回戦
勿來1—1磐
田川6—3常磐湯本
常磐製作4—0日新
小田1—0戸部
久ノ濱4—0磐秩
中郷4—2戸部
古河B3—0日曹赤井
平和1—0常磐製作
▽準々決勝
田川4—2勿來
常磐製作1—2小田
久ノ濱1—0中郷
古河B5—0平和
▽準決勝
常磐製作0—2田川
古河B9—2久ノ濱
▽決勝戦
常磐製作A3—0古河B

降雪期までに木炭搬出

平地區燃配林産組輸送部の奉仕

平地區燃料配給林産組合では木炭の需要期を迎えて市内への補給地である、三阪村と連絡毎月生産される上質木炭二万俵を過早く消費者の手元におくりとどけようと同組合の輸送部では林内に林業勞働者まで同村にとまり込んで三阪村より隣村澤渡へ木炭搬出につとめることになつた

三阪村は農繁期も過んでいよ〳〵各山積炭にはいることになり目下村をあげて炭焼きに従事したところだが肝心の製品化した木炭は毎年厳寒期の十二月から來春三月まで降雪で輸送がとまり山元にすつかり滯貨してしまうのでせめて年内中だけでも市民へ届けてやろうと輸送のさき澤渡までを三阪から木炭をはこび出し一旦澤渡に貯藏したものを順次市内に搬入しようと計畫した今回の處置は各方面より大きな期待がかけられている

民自黨平支部結成

二十六日本社講堂で準備會

民主黨を首班とする社會、協同の連立政權が飜然を繰返して退陣し、新政權は民自黨の吉田單獨内閣が成立したが、在野一年半の研さんになる政策を強く推進させ新く擁護される國會解散に備えて地歩を確立すべく二十六日午後三時から本社ホールに民自黨平支部結成準備會を開くことになつた

發起人

秋原　義雄
野崎　清藏
松本　德一
諸橋元三郎
山野邊義政
鈴木　傳明
佐藤　源吉
金吉　政通

食糧確保措置法座談會

十一月五日平で

石城地方事務所では來月五日午前十時から市内鍛冶山に食糧確保臨時措置法指導會を開き、各町村の勤勞、農業各主任並に農業調整委員は會主任書記を招集、同臨時措置法により本年秋作付裝頴から實施することに就いて同措置の説明會を市に十一月末頃擧を行う調整

歯科醫師會講演會

きのう本社ホールで

福島縣歯科醫師會主催、第二回學術會は二十四日午前九時半から本社ホールで開き、檜山に東京歯科大學教授中村幸雄博士日本大學教授櫻井鏡博士及び福島軍政部衛生顧問阿部米一氏を聘して近代化學ペニシリン療法並に口腔外科補綴療法などの學術講演をきいた

勧業主任會

石炭增産の一重要性を移動展で宣傳

平石炭局では石炭增産協力會の後援で來月中旬頃から約一週間に亘つて石炭移動展覽會を開催すべく準備を進めているが、展覽會實施の意圖は、石炭は日本産業再建に不可缺のエネルギーであるとされている現在、一般の人達は石炭と文化に就いてのハッキリした關係を理解していないのでそれらの常識を普及宣傳しようとするものであるが常磐地區の特色を多分に網羅に示めすことになつており、一般官傳寫眞用パノラマとして、石炭一掴るに必要な經費、石炭分布と埋藏量、石炭の今昔等、常磐の地質狀況として炭田分布圖、記炭圖、出炭グラフ並に炭鑛内部の設備普及のパノラマとして、常磐の採炭圖、坑外の採炭圖、勿來の浜辺矢澤の採炭圖、手掘等々のものが用意されている

小名濱町會

小名濱町定例會は二十七日午前九時から開く定例會だけに盛澤山な議案となろうとある

主力鑛は目標を突破

上旬の出炭東北部は又も赤字

常磐炭田十月中旬の出炭成績では上旬より一日多く、とくに山口炭鑛は一五〇%という好成績をあげたが、これは本坑八五トンの目標に對し九八%の九七、〇〇トンの實績で一、八六五トンの赤字であつた、即ち東北部七二、二五〇トンに對し九七、三%の七〇、三一七トン、東部では二六、七〇〇トンの目標にたいし二六、七六〇トンで目標を突破という好成績を擧げ指定鑛もまた目標及び主要炭鑛の實績左の通り

常磐二八、八〇三（二七、〇〇〇）好間八、五四一（八、

三阪に泊込みで

大力角炭會團體個人共

田川優勝

常磐山野邊君は見事に五人抜を

平石炭局管内炭鑛体育連盟主催の角力大會は二十四日午前九時から平高工グランド内に開催、團体戦では山形縣の田川炭鑛、個人戦では同じく由川炭鑛の藤岡吉治さんがそれぞれ優勝し優勝カップを獲得した、戦績左の通り

【團体戦】

一位田川炭鑛、二位常磐A組、三位山口炭鑛（茨城）

【個人戦】

一位、藤岡吉治（田川）二位、山野邊義治（常磐）三七で町役場テームが優勝、大會優勝旅を獲得した

影山さん優勝

三人抜、五人抜

山野邊義治（常磐）

1—7 湯本役場優勝

湯本町育業野球

湯本町育業野球部主催の温泉旅館組合、商工會、湯本町役場、小學校教員ク、郵便局及び湯本驛等七チーム參加の湯本町實業秋式野球大會は二十四日午前八時より新校舎球場に開催、終日熱戦の後品川白煉瓦工場と町役場が勝ち残つて決勝戦を行つたが結局十一對七で町役場テームが優勝、大會優勝旅を獲得した

學校と勞基法の座談會

平勞基署では二十五日午後一時から平第二小學校に部下各學校長を招集、花卷署から勞基法と學校運營について座談會を開いた

公判日決る

十一月十一日に

▲後一時から平第二小學校で全職員三十九名の卓球大會を開催

影山忠雄氏が見事優勝選手杯に賞品の清酒一本を獲得した

▲除雪期まで三阪に泊り込みで木炭搬出に努める、平地區燃配林産組の努力に市民も感謝すべし

▲倉樹公園の枝書園に十ケ所の目標に對し九八%の九七、〇〇〇トンの實績で一、八六五トンの赤字であつた、即ち東北部七二、二五〇トンに對し九七、三%の七〇、三一七トン、東部では二六、七〇〇トンの目標にたいし二六、七六〇トンで目標を突破という好成績を擧げ指定鑛もまた目標及び主要炭鑛の實績左の通り

常磐二八、八〇三（二七、〇〇〇）好間八、五四一（八、

御知らせ

此度恐喝容疑に

川徳演劇部代表川和徳一氏は

て平市署に收容中なるも今回の六代目尾上菊五郎一座東北巡業並に平市世界館に於て十一月三、四日二日間豫定通り開演仕ります

川徳演劇部

興行責任　松本辰雄

待望の六代目尾上菊五郎一座

空前の豪華絢爛の舞臺

一行八十餘名

期日十一月三日四日二日間晝夜二回

會場　平市世界館

前賣開始!!

一丁目　金澤屋
三丁目　菊屋呉服店
五丁目　金光堂
五丁目　吉田屋
田町　松月堂
驛前　福島商販店
南町　田中燈筆店
白銀町　世界舘
小名濱　磐城座
三丁目　天地堂
吉田　神谷藥局
驛前　宮川理髪店
ますや商店
千葉歯科醫院
山家洋品店

川徳演劇部へ!!

電九七〇番

御婚禮期になりました

タンス　鏡台　の御用は是非

皆様のマルミヤへ

綱局協内　宮金坂通り
電話四四番

店の問專具家

御婚禮江戸養

モーニング　高級衣裳　の賣買

御相談下さい

▽秋柄及冬物新入荷△

中古衣類屋　問　中央會館

平市南町（平良隣り）電九一五一

中古衣類破格販賣

お求の際は是非一度

人造バターの物品税集金について

本月中旬那下四市に配給した人造バターの價格は卸組合の手違ひで物品税を加算せず販賣いたしましたが、その總額は百萬円の巨額に上りますので卸組合としては消費者の負擔より頂戴しなければならない事になりました御迷惑の事と存じますが御家族一名當五十匁として金五円也十錢割で先に購入した當舘店迄御納入下さい、小賣店より集金に參上する豫定ですが急に要する事故、成可拂込下されば幸いに存じます、御願いいたします尚此事については市役所並に放送局の御協力により周知する樣に成つしておりますから御了承下さい

福島縣油脂卸商業協同組合
平地區商業協同組合
平市内消費者各位

開店披露

明朗・氣輕な社交喫茶！

茶喫ときわ

平市中町二一（市役所通り）

御飲もの常にあります
商話、御會合に御利用下さい

開店披露

大和醫院

看護婦及見習　緊急募集

耳鼻咽喉科

平市南町一六　電一七〇番

開店御披露

本場の牛自慢の肉

牛豚肉店

親切・配達・迅速
氣持ヨク・買ヨイ
サービスの店

平驛前　マサゴヤ洋品店隣

綠屋肉店

ナナクシ
電話　七九四番

大塚食肉問屋
平市六丁目　電話539番

ライフ

LIFE　雜誌報國
アメリカの望ましい
リーダー
紙・假定
待望の一回
全アート2月

ササキホンヤ
角忠書店
平市二丁目　TEL 285

傳統の創造（上）

磐城日本農家協會　小松絃三郎

農家として、わが郷土の繪畫文化について申しますとこの濱通りは郡山福島方面の中通り程繪畫文化についての敎養が育まれていません。日本文化史を通じて各自代いづれもわが郷土は、文化の中心から遠隔し土地自体にも遂に何らの發展す可き古典文化も殘らず、傑出したる人材も輩出するに至らなかった。こうした土地は人を生まず、藝術の成長の歷史を造らず、藝術の基盤も、又何らの伝統もなかったのであります。從つて郷土の民族には宿命的に藝術文化の萌芽する機會を失い藝術的天才の姿養ある郷土とはならなかった。繪畫的敎養の低さも必然に土地柄の生んだ所以です。然し過ぎ去つた歷史は最早致し方がない。こうした不利な土地柄の自覺の上に立つて郷土の農家は不退轉の努力を致さねばならない。今唯一人の傑れた鑑賞者が現れゝば二人、三人の有能の畫家が續出するかも知れない。其れによつて十人百人の觀賞者が生れゝばお互に敎養を高められてそうとする氣運が今や漸く盛り上つて來てゐる。最早勝れ